

TEAC

取扱説明書

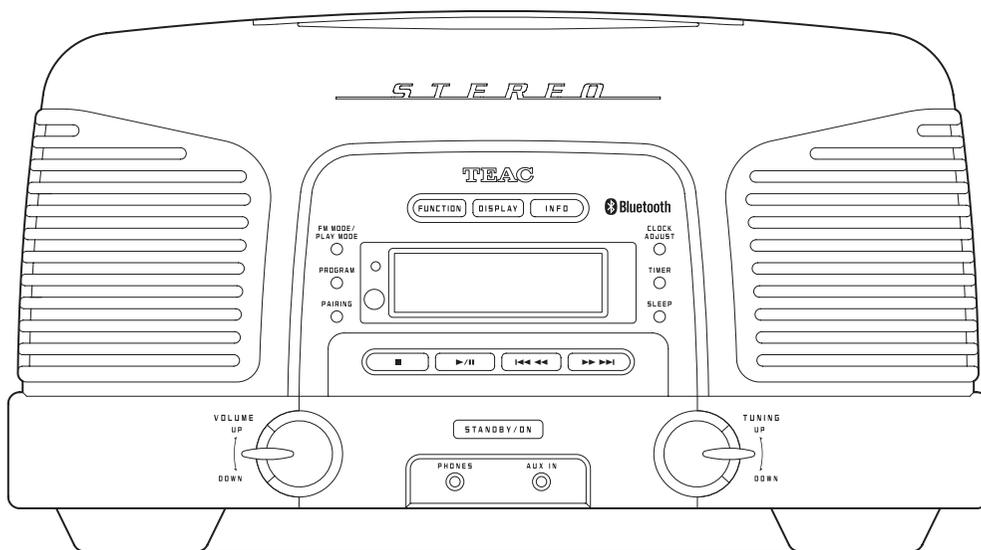
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

SL-D930

BLUETOOTH CD RADIO



ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管
してください。
未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 安全にお使いいただくために..... | 3 |
| お使いになる前に..... | 6 |
| ディスクについて..... | 7 |
| MP3/WMA について..... | 8 |
| 電波について..... | 9 |
| 接 続..... | 10 |
| 各部の名前とはたらき(本体)..... | 12 |
| 各部の名前とはたらき(リモコン)..... | 14 |
| リモコンの使い方..... | 15 |
| 時刻合わせ..... | 16 |
| 基本操作..... | 17 |
| ディスクを聴く..... | 18 |
| 再生する..... | 19 |
| MP3/WMA ファイルの再生順..... | 21 |
| プログラム再生..... | 22 |
| リピート/シャッフル/イントロ再生..... | 25 |
| 接続した機器の音を聴く..... | 27 |
| Bluetooth 機器を聴く..... | 27 |
| Bluetooth 機器をペアリングする..... | 28 |
| ラジオを聴く..... | 29 |
| 放送局のプリセット..... | 30 |
| スリープタイマー..... | 31 |
| 目覚ましタイマー..... | 32 |
| 困ったときは..... | 35 |
| 仕 様..... | 37 |
| 保証とアフターサービス(よくお読みください)..... | 39 |

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

|  | <p>警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> |
|--|---|
|  <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> | <p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにし 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したり しない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 120cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> |
|  <p>指示</p> | <p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p> |

安全にお使いいただくために（続き）

| | |
|--|--|
|  <h2>警告</h2> <p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> | |
|  <p>分解禁止</p> | <p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> |
| | <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p> |

| | |
|---|--|
|  <h2>注意</h2> <p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p> | |
|  <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> | <p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> |
| | <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p> |
|  <p>指示</p> | <p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する</p> |
| | <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> |
| | <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> |
| | <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p> |

| | |
|---|---|
|  <p>愛情点検</p> | <p>電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。 5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。 費用についてはお問い合わせください。</p> |
|---|---|

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

|  警告 乾電池に関する警告 | |
|---|---|
|  禁止 | 乾電池は絶対に充電しない。 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。 |

|  警告 電池に関する警告 | |
|--|--|
|  強制 | 電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| | 長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。 |
|  禁止 | 指定以外の電池は使用しない。 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。 |
| | 炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。 |

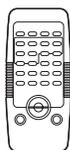
|  注意 電池に関する注意 | |
|--|--|
|  禁止 | 金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。 |
| | 電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
|  分解禁止 | 分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。 |

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

リモコン (RC-1311) × 1



リモコン用乾電池 (単 4) × 2



バックアップ用 コイン型リチウム電池 (CR2032) × 1



ステレオミニプラグケーブル × 1



取扱説明書 (保証書つき) × 1

ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<http://teac.jp/support/registration/>

使用上の注意

- ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。
- 再生中はディスクが高速で回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたままの移動は、故障の原因となります。
- 本機がスタンバイ状態のときでも、待機電力が消費されます。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ 注意

お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

コンパクト ディスク デジタル オーディオ
「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」ロゴマークのある CD



音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。
または、MP3/WMA ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ 注意

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷つける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

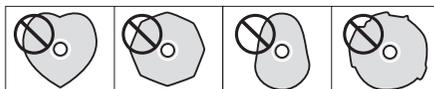
CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) と MP3/WMA 形式で記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面 (レーベルがない面) に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方



持ち方

次のページに続きます ➡

ディスクについて (続き)

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

MP3/WMA について

本機は CD-R/CD-RW に記録された MP3/WMA ファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット
MP3 (拡張子「.mp3」)
ビットレート 16k ~ 320kbps
サンプリング周波数 16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
WMA (拡張子「.wma」)
ビットレート 16k ~ 320kbps
サンプリング周波数 16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
- ※ DRM(Digital Right Management) には対応していません。

ファイル情報の表示について

本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字(1 バイト文字)しか表示できません。

- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2 バイト文字)が使われている場合、再生は出来ませんがディスプレイに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMA ファイルを作成する際の注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。
- CD-R/CD-RW への記録後は、クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 本機で対応できる最大曲数は 999 曲、最大フォルダ数は 99 です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解 / 改造すること
 - ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

2.4 FH1

本機は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し与干渉距離は 10 m です。本製品は日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
 - ・ 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ・ ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意ください。

- ・ 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・ 不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

Bluetooth® について

携帯電話等 Bluetooth 機器と本機の距離は約 10m 以内で使用してください。

ただし使用状況によっては通信有効範囲が短くなる場合があります。

すべての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

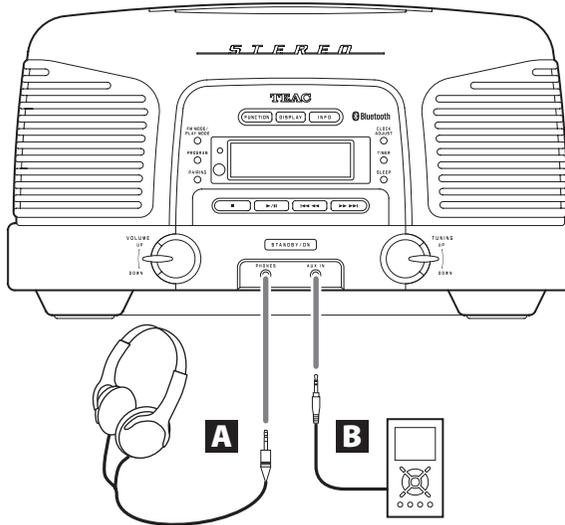
本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

接 続

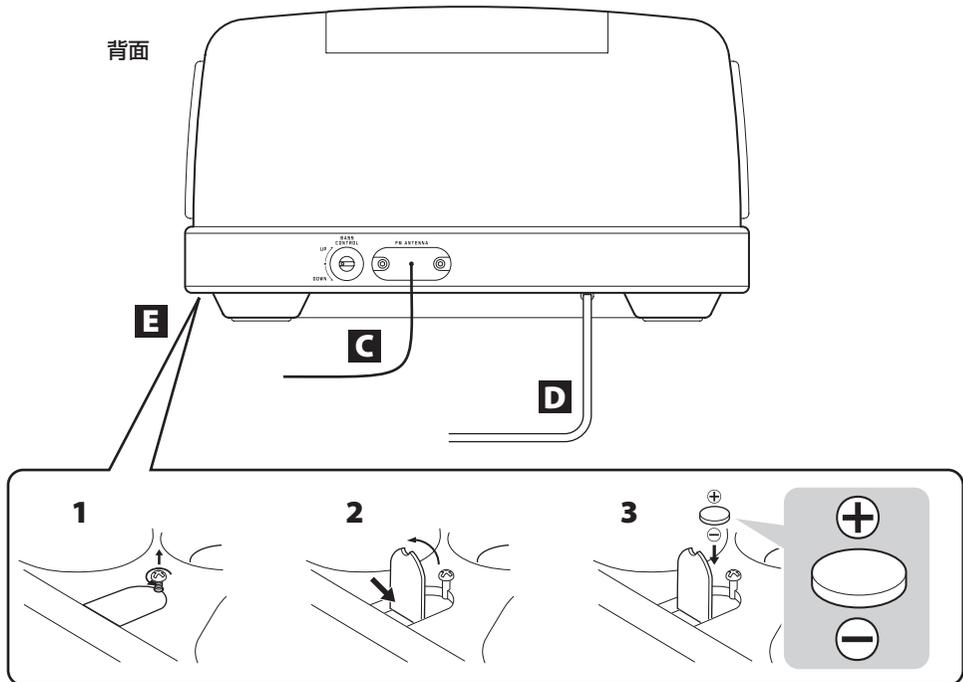
⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

前面



背面



A ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を調節してください。ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。

⚠ 注意

必ず音量を下げてからヘッドホンプラグを差し込み、ヘッドホンを装着してください。また、ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のスタンバイ/オンや、ヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

B 音声入力端子 (AUX IN)

付属のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子（または音声出力端子）と接続して、本機で音声を再生します。

- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないことがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

C FM アンテナ

FM 放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置を探してください。

本機の置き場所を変えたときは、再調整してください。

D 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

E バックアップ用電池ケース

停電時や電源プラグが抜かれたときに、本機の時計、FM/AM 放送局のプリセット、目覚ましタイマーの設定を一時的にバックアップするための電池を収納します。

コイン型リチウム電池の入れ方

左のページの図のように、ケースのふたをドライバーで外し、電池の ⊕ の表示を上にして入れてください。

電池の交換時期

正しい時刻が表示されなくなってきたら、新しい電池に交換してください。

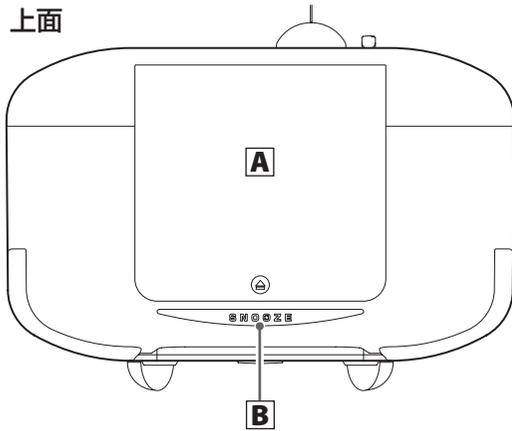
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 注意

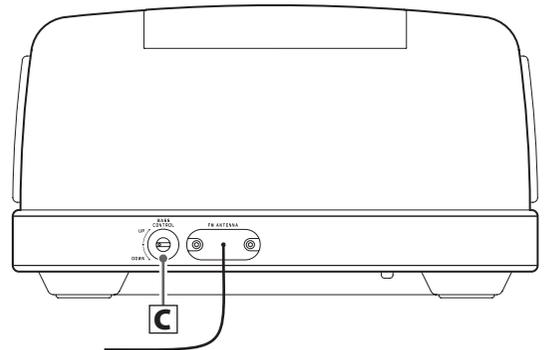
電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5 ページの注意をよく読んでお使いください。

各部の名前とはたらき (本体)

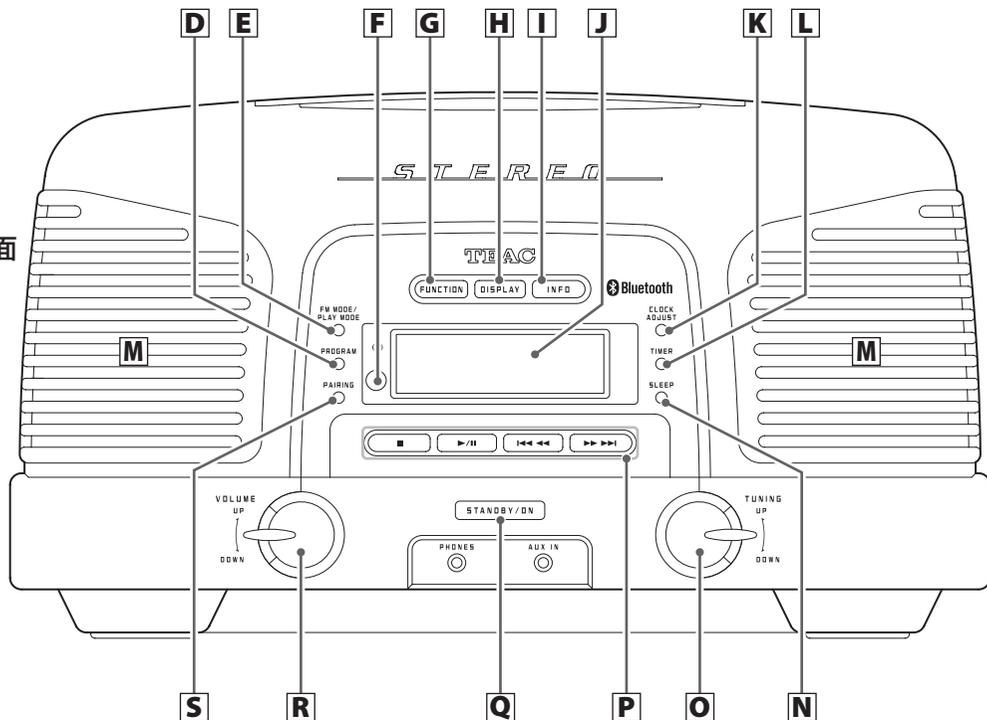
上面



背面



前面



A ディスクカバー

▲ マークを押すとカバーが上に開きます。

B スヌーズボタン (SNOOZE)

目覚ましタイマーがオンになったときにこのボタンを押すと、5分間スタンバイ(電源オフ)状態になります。また、ディスプレイの明るさを切り換えます。

C BASS コントロールつまみ (BASS CONTROL)

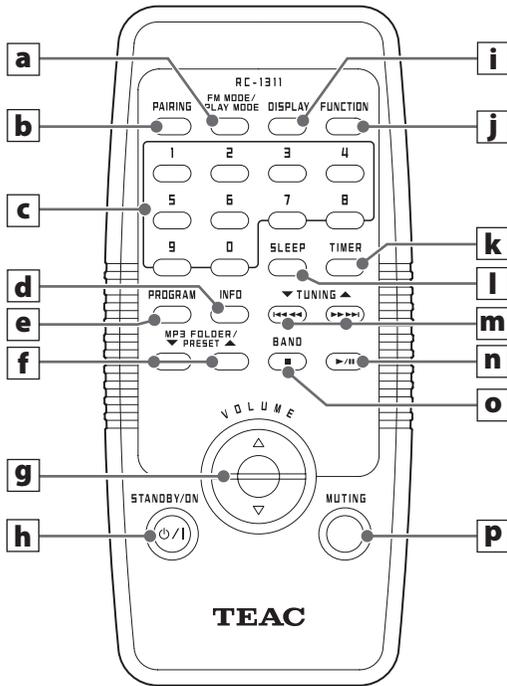
内蔵サブウーハーの音量(低音)を調節するときに使います。

D プログラムボタン (PROGRAM)

CDをプログラム再生するときに使います。(22ページ)

ラジオ放送局(AM、FM)をプリセットするときに使います。(30ページ)

各部の名前とはたらき (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a FMモード (FM MODE)/ プレイモードボタン (PLAY MODE)

FM ラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り換えます。

CD のリピート再生、シャッフル再生、イントロ再生 (曲の頭の部分だけを連続して再生) に使います。(25 ページ)

b ペ어링ボタン (PAIRING)

Bluetooth 機器とペ어링登録を行います。(28 ページ)

- 電源がスタンバイのときに押すと、電源がオンになり、ファンクションが Bluetooth になります。

c 数字ボタン (1 ~ 0)

CD の再生曲番を選択します。(20 ページ)

プリセットしたラジオ放送局 (AM、FM) を選択します。(31 ページ)

d 情報ボタン (INFO)

MP3/WMA ファイルが記録されたディスクを再生中にこのボタンを押すと、曲名などの ID タグ情報を表示します。(21 ページ)

e プログラムボタン (PROGRAM)

CD をプログラム再生する時に使います。(22 ページ)

ラジオ放送局 (AM、FM) をプリセットするときに使います。(30 ページ)

f MP3 フォルダー (MP3 FOLDER)/ プリセット (PRESET) (▲/▼) ボタン

MP3/WMA ファイルが記録されたディスクを再生する場合、再生したいフォルダーを選ぶときに使います。

プリセットしたラジオ放送局 (AM、FM) を選択するときに使います。(31 ページ)

g 音量ボタン (VOLUME)

音量を調節します。

h 電源ボタン (STANDBY/ON) (⏻/⏻)

電源のスタンバイ / オンを切り換えます。

i ディスプレーボタン (DISPLAY)

このボタンを押すたびにディスプレイの表示が変わります。(20 ページ)

j ファンクション切替ボタン (FUNCTION)

このボタンを押すたびに以下の順番で再生ソースが切り換わります。

→ CD → BLUETOOTH → FM → AM → AUX

- 電源がスタンバイのときに押すと、電源がオンになります。

k タイマーボタン (TIMER)

目覚ましタイマーの設定に使います。(32 ページ)

l スリープボタン (SLEEP)

スリープタイマーの設定に使います。(31 ページ)

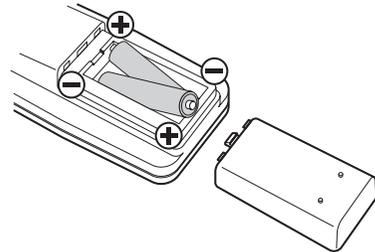
リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。



乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

m 選局 (TUNING) (▲/▼) スキップ/サーチ (◀◀ ◀/▶▶ ▶▶) ボタン

ラジオ (AM、FM) の選局に使用します。

CD、Bluetooth 機器の選曲に使用します。▶▶ ▶▶ を押すと次の曲にスキップし、◀◀ ◀ を押すと前の曲にスキップします。

再生中に ▶▶ ▶▶ を押し続けると早送り、◀◀ ◀ を押し続けると早戻しします。

n 再生 / 一時停止ボタン (▶ / ||)

CD、Bluetooth 機器の再生または一時停止します。

o バンド (BAND) / 停止 (■) ボタン

ラジオ受信時に AM、FM を切り換えます。

CD、Bluetooth 機器の再生を停止します。

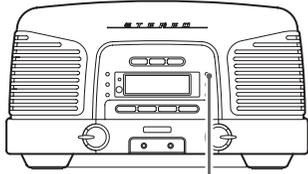
p 消音ボタン (MUTING)

一時的に音を消します。

時刻合わせ

お使いになる前に、現在時刻を設定してください。
電源がスタンバイ / オンのどちらの状態でも設定できます。

1 時刻合わせボタン (CLOCK ADJUST) を 2 秒以上押す。



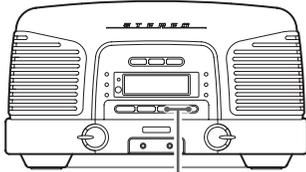
CLOCK
ADJUST



2 秒以上押す

「12H(12 時間)」または「24H(24 時間)」がディスプレイに点滅表示されます。その後に指を離してください。

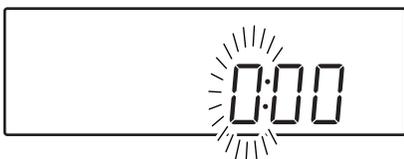
12 時間表示と 24 時間表示を切り換えるには、スキップ / サーチボタン (▶▶▶▶) を押してください。



- 10 秒以上放置すると、時刻合わせモードは解除されます。

2 時刻合わせボタン (CLOCK ADJUST) を押す。

CLOCK
ADJUST

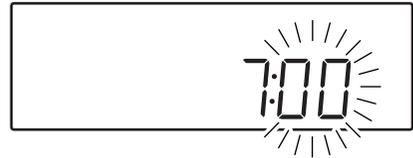


「時」表示が点滅します。

3 スキップ / サーチボタン (▶▶▶▶) を押して「時」を合わせ、時刻合わせボタン (CLOCK ADJUST) を押す。



CLOCK
ADJUST



「分」表示が点滅します。

4 スキップ / サーチボタン (▶▶▶▶) を押して「分」を合わせ、時刻合わせボタン (CLOCK ADJUST) を押す。



CLOCK
ADJUST



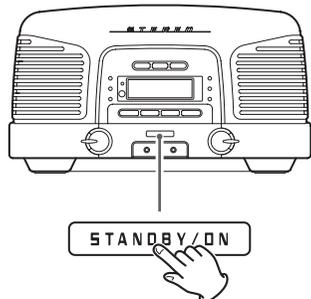
時刻合わせが終了し、合わせた「分」の 0 秒からスタートします。

- 時計は、電源がスタンバイのときと、ファンクションが AUX(外部入力) のときは常にディスプレイに表示されます。それ以外のときはディスプレイボタン (DISPLAY) を押すと表示されます。
- バックアップ用電池 (11 ページ) の容量が無くなっていると、停電時や電源プラグからコンセントが抜かれた場合には現在時刻やタイマー設定の情報が消去されます。

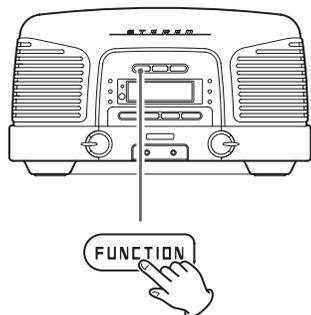
基本操作

ここでは、全ファンクション共通の操作を説明します。

- 1** 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにする。



- 2** ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して、ソースを選ぶ。

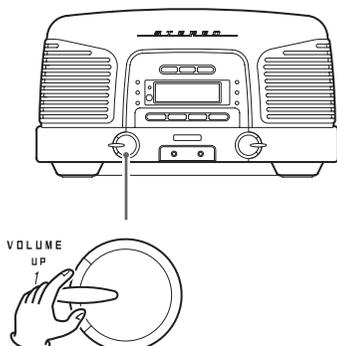


このボタンを押すたびに、

→ CD → BLUETOOTH → FM → AM → AUX →

の順番で再生ソースが切り換わります。

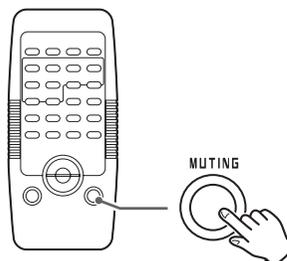
- 3** ソースを再生し、音量つまみ (VOLUME) を使って音量を調節する。



音量は、つまみを上に回すと大きくなり、下に回すと小さくなります。

一時的に音を消す

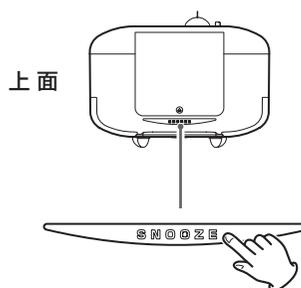
一時的に音を消すことができます。



消音ボタン (MUTING) を押します。再度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中は、ディスプレイに「MUTING」が点灯します。
- 消音中に音量を変更したり、ソースを切り換えると、消音は解除されます。

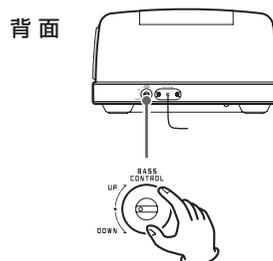
ディマー



スヌーズボタン (SNOOZE) を押すと、ディスプレイの明るさが切り換わります。

電源がスタンバイのときでも切り換えることができます。

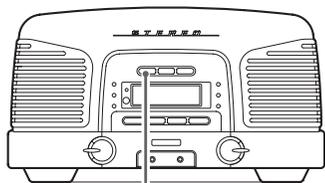
低音を調節する



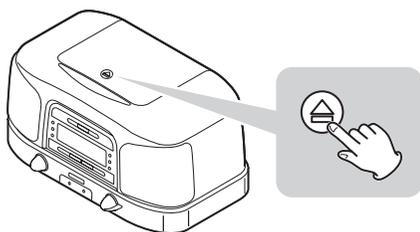
背面の BASS コントロールつまみ (BASS CONTROL) を回して、底面にあるサブウーハーの音量を調節します。

ディスクを聴く

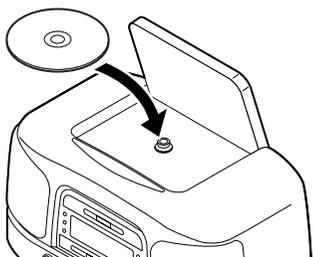
- 1** ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して「CD」を選ぶ。



- 2** ▲マークを押してディスクカバーを開ける。



- 3** ディスクのレーベル面を上にして中央にセットし、カバーを閉める。



- 複数のディスクを一度に挿入しないでください。故障の原因になります。
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。
- 「NO DISC」が表示されているときにディスプレイボタン (DISPLAY) を押すと、時計表示になります。



- カバーを閉じるとき指を挟まないようご注意ください。

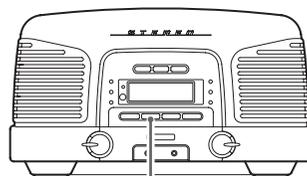
オーディオ CD



MP3/WMA ディスク



- 4** 再生/一時停止ボタン (▶/||) を押して、再生を始める。



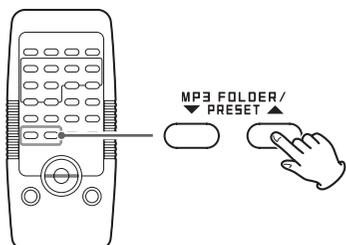
1 曲目から再生が始まります。

- フォルダに入っていない MP3/WMA ファイルは、「001(ROOT)」フォルダにあります。再生は「001(ROOT)」フォルダの 1 曲目から始まります。
- MP3/WMA ファイルの再生順については、21 ページをご覧ください。
- 全ての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

⚠ 再生中は絶対にディスクカバーを開けないでください。ディスクが飛び出してケガや故障の原因となる恐れがあります。

再生する (続き)

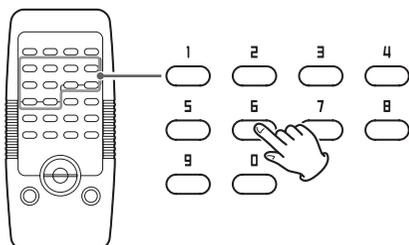
フォルダーを選ぶ (MP3/WMAディスクのみ)



MP3 フォルダーボタン (MP3 FOLDER)(▲ / ▼) を使ってフォルダーを選びます。

- 本体正面の選局つまみ (TUNING) も使えます。

数字ボタンで曲番を選んで再生する



再生中または停止中に、数字ボタンを押して曲番 / ファイル番号を選んで再生できます。

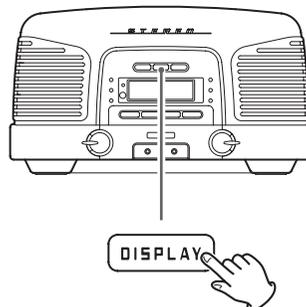
局番 / ファイル番号 7:

局番 / ファイル番号 23:

選んだ曲番が自動的に再生されます。

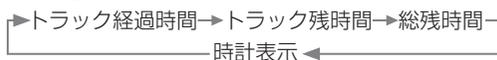
- プログラム再生 (22 ページ) 中、またはシャッフル再生 (26 ページ) 中は数字ボタンでの選曲はできません。

ディスプレイの切換え

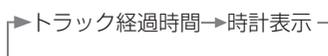


ディスプレイボタン (DISPLAY) を押すたびにディスプレイの表示が以下のように変わります。

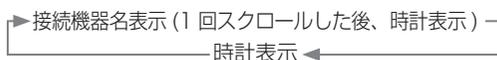
音楽 CD 再生時



MP3/WMAディスク再生時



Bluetooth 再生時

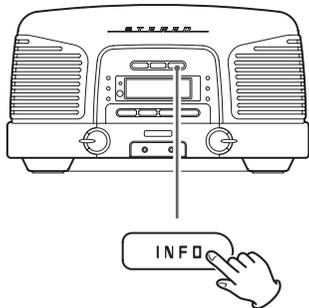


AM/FM 時



MP3/WMA ファイルの再生順

ファイル情報表示 (MP3/WMAディスクのみ)



再生中に情報ボタン (INFO) を押す度に、以下のファイル情報が切り替わり、表示されます。

フォルダー名とファイル名 (スクロール表示)

↓

タイトル (スクロール表示)

↓

アーティスト (スクロール表示)

↓

アルバム (スクロール表示)

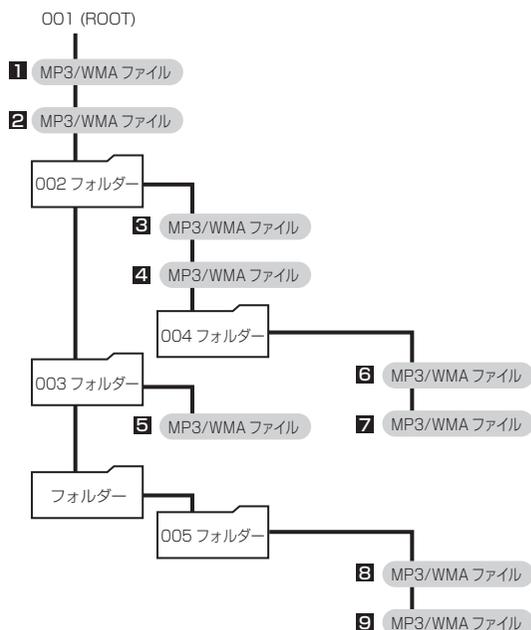
↓

再生中のフォルダー番号、
ファイル番号 / 時計表示
(INFO ボタンで時計表示を選択して
いた場合、時計表示となります。)

- 再生中のフォルダー / ファイル番号を表示中に、何も操作しない状態が 2 秒間続くと、通常の表示 (再生経過時間) に戻ります。
- タイトル / アーティスト / アルバムの最初の 30 文字が表示されます。
- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生はできますがディスプレイには正しく表示されません。

MP3/WMA ファイルを記録したディスクには、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3/WMA ファイルをフォルダーに格納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて 1 つのフォルダーに格納しているものもあります。

MP3/WMA ファイルが記録されたディスクをノーマル再生する場合の、フォルダー番号とファイルの再生順 (1~9) の例

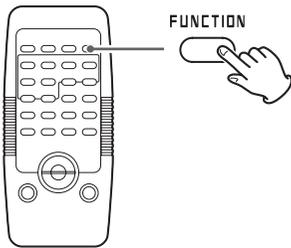


- 上記の図の順番は、ファイルやフォルダーを追加 / 削除したり、位置を変えたりすることによって変わることがあります。

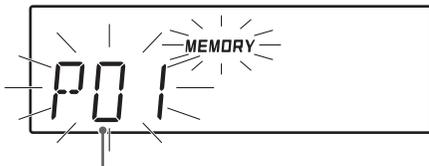
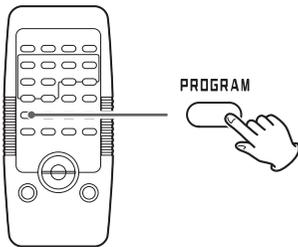
プログラム再生

ファンクションが CD のとき、再生したい順番に 32 曲までプログラムすることができます。

1 ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して「CD」を選ぶ。



2 停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押す。



プログラム番号

プログラム番号と MEMORY インジケーターが点滅します。

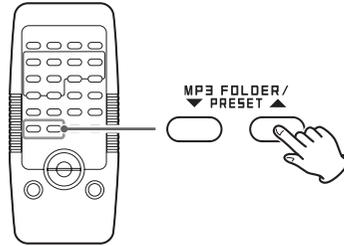
- プログラムを中止するには、停止ボタン (■) を 1 度押します。

注意

- 停止ボタン (■) を 2 度押した場合、MEMORY インジケーターが消灯し、プログラム再生が解除されます。

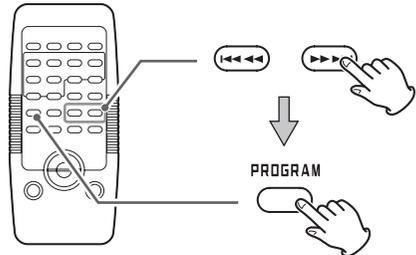
MP3/WMA ファイルをプログラムする場合

MP3 フォルダ (MP3 FOLDER)(▲/▼) を押して、MP3/WMA ディスクのフォルダを選ぶ。



- フォルダに入っていない MP3/WMA ファイルは、「001(ROOT)」フォルダにあります。

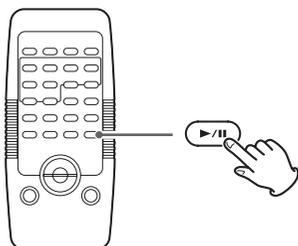
3 スキップ/サーチボタン (◀◀ ◻▶▶▶) を押して曲を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



選択した曲がプログラムされ、「P02」が表示されます。

- 複数の曲をプログラムするには、2~3 の手順を繰り返してください。
- プログラムを終えた後にプログラムを中止するには、停止ボタン (■) を 1 度押します。

- 4** プログラムが終わったら、再生 / 一時停止ボタン (▶ / ||) を押してプログラム再生を始める。



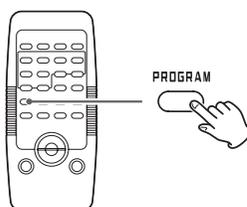
- プログラム再生を中止するには、停止ボタン (■) を1度押します。この場合、プログラム内容は保持されます。
- プログラム再生が終了または中止した後に、再びプログラム再生をするには、再生 / 一時停止ボタン (▶ / ||) を押します。
- プログラム再生中にスキップ / サーチボタン (◀◀ / ▶▶) を押して、プログラム中の他の曲を選ぶことができます。
- プログラム再生中にシャッフル再生、イントロ再生 (26 ページ) はできません。
- プログラム再生を解除するには、停止ボタン (■) を2度押します。
- 全プログラム内容の消去をしなければ、プログラムボタン (PROGRAM) を押し、再生 / 一時停止ボタン (▶ / ||) を押すと、前にプログラムした順番でプログラム再生を行うことができます。

全プログラム内容の消去

以下の場合、全てのプログラム内容が消去されます。

- 電源がスタンバイになったとき
- ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押してソースを切り換えたとき
- ディスクカバーを開けたとき

プログラムの順番をチェックする



停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

次のページに続きます →

プログラム再生 (続き)

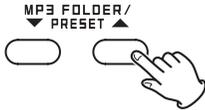
プログラムの最後に曲を追加するには

- 1 停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押し、最後のプログラム番号の次の番号「PXX」を表示させる。

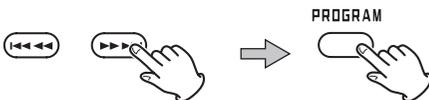


MP3/WMA ファイルのプログラムの場合

MP3 フォルダー (MP3 FOLDER)(▲ / ▼) ボタンを押して、追加したい曲のあるフォルダーを選ぶ。



- 2 スキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀ / ▶▶ ▶▶) を押して追加したい曲を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



選択した曲がプログラムの最後に追加されます。

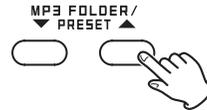
プログラムの一部を書き換える

- 1 停止中に、書き換えたいプログラム番号が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。

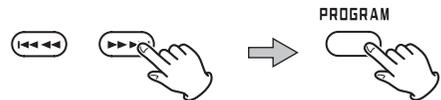


MP3/WMA ファイルのプログラムの場合

MP3 フォルダー (MP3 FOLDER)(▲ / ▼) ボタンを押して、新しく上書きしたい曲のあるフォルダーを選ぶ。

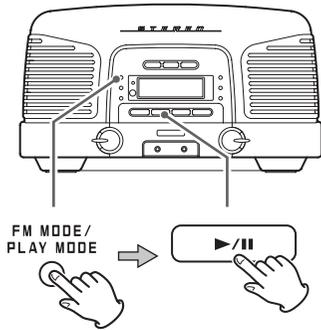


- 2 スキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀ / ▶▶ ▶▶) を押して新しく上書きしたい曲を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



選択した曲に書き換えられます。

リピート / シャッフル / イントロ再生

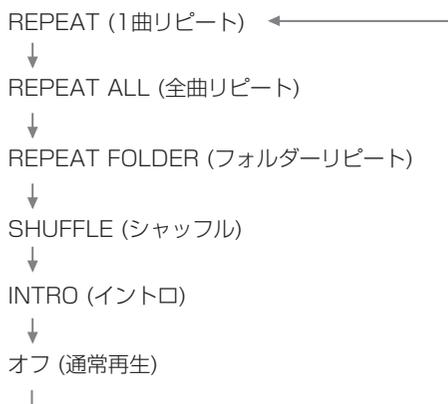


ファンクションがCDのとき、プレイモードボタン (PLAY MODE) を押すたびに、以下のように再生モードが変わります。

オーディオCD



MP3/WMAディスク



聴きたいモードになったら再生 / 一時停止ボタン (▶ / ||) を押して再生を始めます。

- 再生中にプレイモードボタン (PLAY MODE) を押して再生モードを切り換えることもできます。
- 以下の場合に、再生モードはキャンセルされます。
 - ➔ 電源がスタンバイになったとき
 - ➔ ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押してソースを切り換えたとき
 - ➔ 停止ボタン (■) を押したとき
 - ➔ ディスクカバーを開けたとき

次のページに続きます ➔

リピート/シャッフル/イントロ再生 (続き)

リピート再生

REPEAT(1 曲リピート)

再生中にプレイモードボタン (PLAY MODE) を 1 度押すと、ディスプレイに「REPEAT」と表示され、再生中の曲が繰り返し再生されます。

- 1 曲リピート再生中にスキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀ / ▶▶ ▶▶) を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。
- 停止中は、プレイモードボタン (PLAY MODE) を押してからスキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀ / ▶▶ ▶▶) で曲を選び、再生/一時停止ボタン (▶ / ||) を押すと、1 曲リピート再生を始めます。
- プログラム再生中は、再生中の曲が繰り返し再生されます。

REPEAT ALL(全曲リピート)

プレイモードボタン (PLAY MODE) を 2 度押します。ディスプレイに「REPEAT ALL」と表示され、全曲が繰り返し再生されます。

- プログラム再生中は、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

REPEAT FOLDER(フォルダーリピート) (MP3/WMA ディスクのみ)

プレイモードボタン (PLAY MODE) を 3 度押します。ディスプレイに「REPEAT FOLDER」と表示され、選択中のフォルダーの曲が繰り返し再生されます。

シャッフル再生

ディスクの全曲がランダムに再生されます。

SHUFFLE(シャッフル)

ディスプレイに「SHUFFLE」と表示されるまで、プレイモードボタン (PLAY MODE) を繰り返し押します。

- シャッフル再生中に ▶▶ ▶▶ ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されて再生されます。
◀◀ ◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。ただし、シャッフル再生開始時を除き、再生開始後 3 秒以内に ◀◀ ◀◀ ボタンを押した場合には、その前に再生していたトラックに移動し、再生をします。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

イントロ再生

曲の頭の部分だけを連続して再生することができます。

INTRO(イントロ)

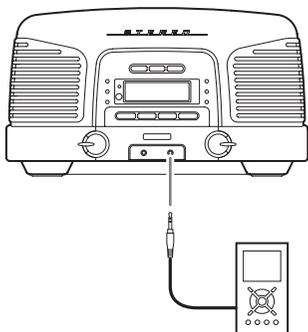
ディスプレイに「INTRO」と表示されるまで、プレイモードボタン (PLAY MODE) を繰り返し押します。各曲の冒頭部分が順番に 10 秒ずつ再生されます。

- プログラム再生中は、イントロ再生はできません。

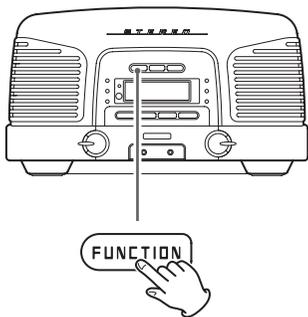
接続した機器の音を聴く

携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と接続して、本機で音声を再生します。

- 1 本機のアナログ音声入力端子 (AUX) と携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子 (または音声出力端子) とを、付属のステレオミニプラグケーブルで接続する。



- 2 ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して「AUX」を選ぶ。



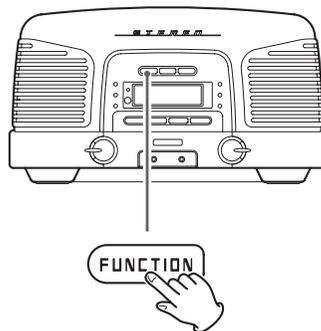
- 3 再生を始め、本機と接続した機器の両方で音量を調節する。

- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を上げないと、本機から音が出ません。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

Bluetooth 機器を聴く

本機では、他の Bluetooth 搭載機器で再生する音楽をワイヤレス (ケーブルの接続が不要) でお楽しみいただくことができます。

- 1 ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して「BLUETOOTH」を選ぶ



- 前回接続していた機器に自動的に接続を試みます。
- 2分間接続できなかった場合は「NO DEVICE CONNECTED」とスクロール表示されます。
- 「NO DEVICE CONNECTED」が表示されているときにディスプレイボタン (DISPLAY) を押すと、時計表示になります。



- 初めて本機を使用する場合や、新しい Bluetooth 機器を接続する場合は、ペアリングを行って下さい。
- Bluetooth 機器と接続が成功すると、短いピープ音が2回鳴り、本機のディスプレイに Bluetooth 機器の名前が表示されます。(28 ページ)
- 接続に失敗した場合は、Bluetooth 機器が接続可能な状態になっているか確認してください。
- 接続中にファンクションを切り換えると接続が解除されます。

- 2 Bluetooth 機器を操作して再生を始める

接続する Bluetooth 機器が AVRCP に対応している場合、本体またはリモコンで接続機器の基本的な操作を行うことができます。

お使いの Bluetooth 機器によっては、リモコン動作に対応していない場合や、実際の動作が異なる場合があります。

Bluetooth 機器をペアリングする

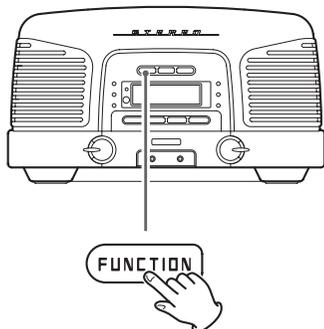
初めて本機を使用する場合や、新しい Bluetooth 機器を接続して Bluetooth 機器を聴く場合は、あらかじめペアリングを行う必要があります。

以下の手順でペアリングを行って下さい。

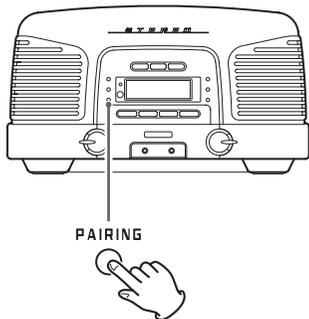
ペアリングする

1 ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して「BLUETOOTH」を選ぶ。

- BLUETOOTH はスクロール表示されます。



2 ペアリングボタン (PAIRING) を押して本機をペアリングモードにする。



- ディスプレーに「PAIRING」と点滅表示します。

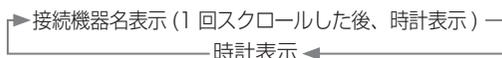
3 Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定する。

4 Bluetooth 機器から本機「SL-D930」を選択して接続する。

- ペアリング時にパスキーを求められた場合は「0000」を入力して下さい。

Bluetooth 機器と接続が成功すると、短いピープ音が 2 回鳴り、ディスプレイに「CONNECTED」と表示されます。

5 秒後、接続された Bluetooth 機器の名前が本機のディスプレイに 1 回スクロール表示した後、時計表示になります。



ディスプレイボタン (DISPLAY) を押すと接続された Bluetooth 機器の名前をスクロールさせることができます。

- 2 分経過して Bluetooth 機器との接続が成功しなかった場合、本機のディスプレイに「NO DEVICE CONNECTED」とスクロール表示されペアリングモードは終了します。
- 一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。
- ペアリング後は対象 Bluetooth 機器を検索して接続します。
- 本機は 8 台までペアリング出来る機器情報を記憶しています。8 台を超えてペアリングを行った場合は最も古いペアリング情報に新しい情報を上書きします。

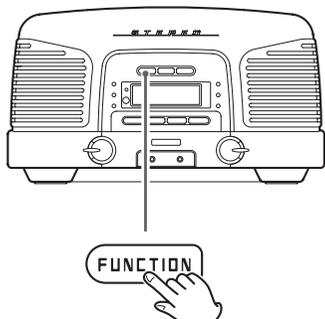
接続を解除する

本機と接続中にペアリングボタン (PAIRING) を押すと接続が解除され、ペアリングモードになります。

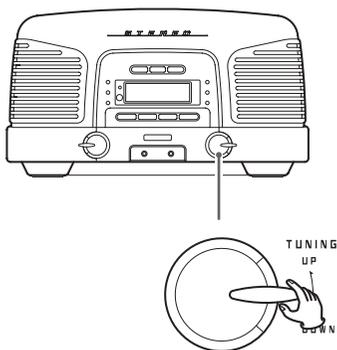
- 再び本機と接続したいときは、Bluetooth 機器側で本機との接続操作をしてください。
- 接続中にファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して、ファンクションを切り換えると接続が解除されません。

ラジオを聴く

- 1** ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を繰り返し押し、**「FM」** または **「AM」** を選ぶ。



- 2** 選局つまみ (TUNING) を使って選局する。



自動選局

選局つまみ (TUNING) を上または下にして、ディスプレイの周波数表示が変わり始めたら指をはなしてください。

自動的に放送局を受信して周波数表示が止まります。聴きたい放送局が受信されるまで、この操作をくり返してください。

- 中断したい場合は、選局つまみを軽く上下してください。
- リモコンの選局ボタン (TUNING)(▲ / ▼) も同じように使えます。

マニュアル選局

自動選局できない局を受信したい場合は、選局つまみ (TUNING) 少しずつ上下して聴きたい放送局を選びます。聴きたい放送局が受信されるまで繰り返してください。

- リモコンの選局ボタン (TUNING)(▲ / ▼) も同じように使えます。選局ボタン (TUNING)(▲ / ▼) を軽く押すと、周波数は一定のステップで変わります。聴きたい放送局が受信されるまで繰り返し押してください。

FM モード

FM モードボタン (FM MODE) を押すたびに、FM 放送のステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。



STEREO(ステレオ)

FM ステレオ放送をステレオで受信します。

FM ステレオ放送の受信中はディスプレイに「STEREO」と表示されます。

MONO(モノラル)

FM 放送をモノラルで受信します。

ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

受信状態が悪いときは

FM 放送の受信状態が悪いときは、FM アンテナの向きを変えてみてください。

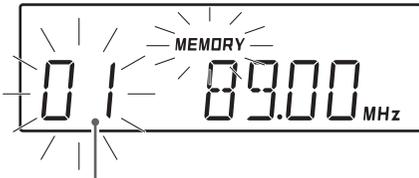
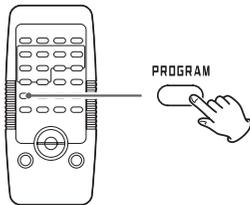
AM アンテナは本体に内蔵されています。AM 放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。

放送局のプリセット

よく聴く局を、FM20局、AM20局まであらかじめ登録（プリセット）しておくことができます。

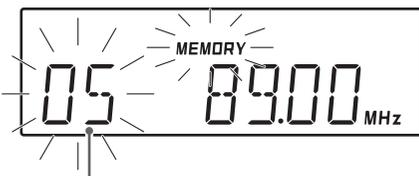
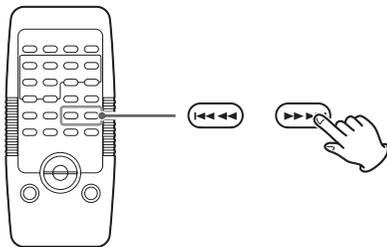
1 登録したい放送局を受信する。(29ページ)

2 プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



プリセット番号

3 5秒以内に、スキップ/サーチボタン (▶▶▶▶) を押して、受信中の放送局を登録したいプリセット番号を選ぶ。



登録したいプリセット番号

4 10秒以内に、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



放送局が記憶されて、プリセット番号と MEMORY インジケータが点滅から点灯に変わります。

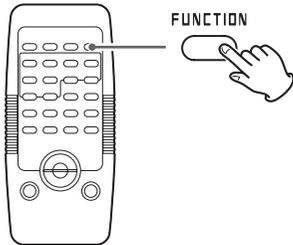
他の放送局をさらに登録するときは、**1** から **4** の手順を繰り返します。

- 停電時や電源プラグからコンセントが抜かれたときにバックアップ用電池 (11ページ) が切れていると、プリセット登録情報は保持されません。

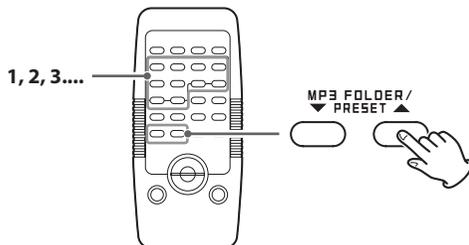
スリープタイマー

登録した放送局を聴く

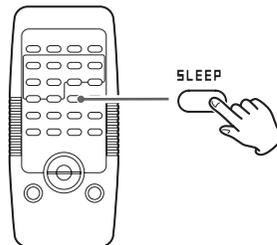
- 1 ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を繰り返し押し、**「FM」** または **「AM」** を選ぶ。



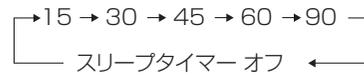
- 2 数字ボタン、またはプリセットボタン (PRESET) (▲ / ▼) を押し、登録した放送局を選ぶ。



一定の時間が過ぎると電源をオフ (スタンバイ) にします。



スリープボタン (SLEEP) を繰り返し押します。
以下のように電源がオフ (スタンバイ) になる時間が変わります。



- スリープタイマーが設定されている間は、ディスプレイが暗くなります。
- スリープ中にスリープボタン (SLEEP) を 1 度押すと、電源がスタンバイになるまでの残り時間が数秒間表示されます。

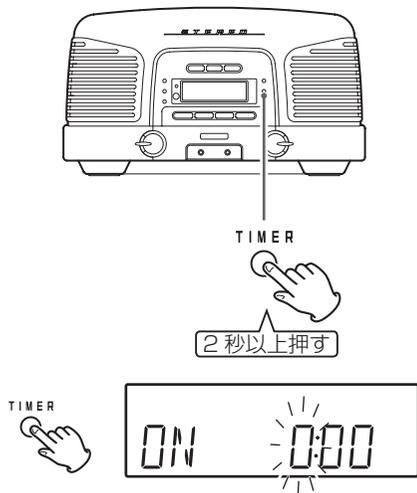
目覚ましタイマー

目覚ましタイマー機能です。

設定した時間になるとスピーカーから音が出ます。

- 目覚ましタイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(16 ページ)

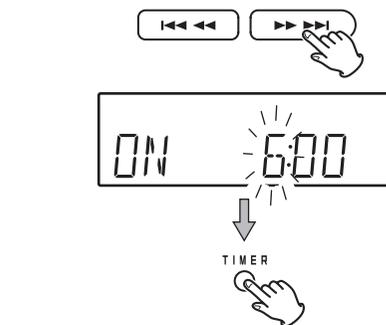
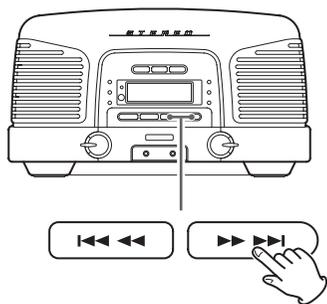
1 タイマーボタン (TIMER) を 2 秒以上押し続ける。



「ON」が点灯し、「時」表示が点滅します。

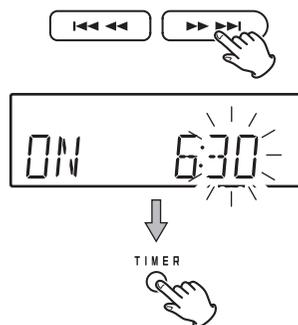
- 10 秒以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。

2 スキップ/サーチボタン (I<<<</>>>>I) を押して、タイマー開始時刻の「時」を合わせ、タイマーボタン (TIMER) を押す。



「分」表示が点滅します。

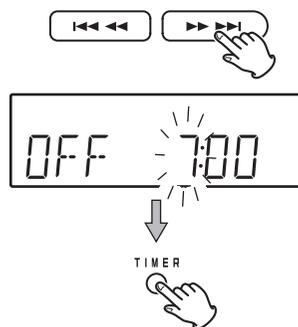
3 スキップ/サーチボタン (I<<<</>>>>I) を押して、タイマー開始時刻の「分」を合わせ、タイマーボタン (TIMER) を押す。



電源オンの時間が設定されました。

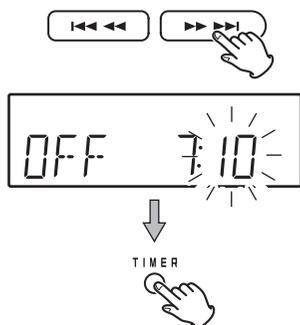
「OFF」が表示され、「時」表示が点滅します。

4 スキップ/サーチボタン (I<<<</>>>>I) を押して、タイマー停止時刻の「時」を合わせ、タイマーボタン (TIMER) を押す。



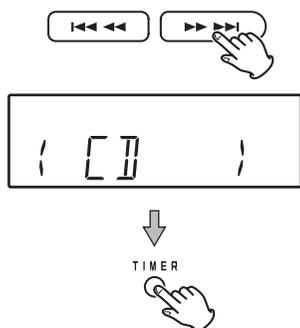
「分」表示が点滅します。

- 5** スキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶) を押して、タイマー停止時刻の「分」を合わせ、タイマーボタン (TIMER) を押す。



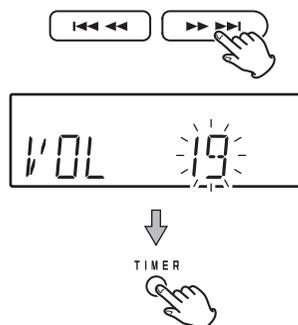
再生ソースが表示されます。

- 6** スキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶) を押して、再生ソースを選び、タイマーボタン (TIMER) を押す。



「AUX」、「Bluetooth」は設定できません。
電子音を鳴らすように設定するには、BUZZER(ブザー)を選んでください。

- 7** スキップ/サーチボタン (◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶) を押して、音量を選び、タイマーボタン (TIMER) を押す。



「TIMER」インジケーターが表示され、タイマー設定モードに入る前の画面に戻ります。

- 8** 再生ソースなどを準備する。

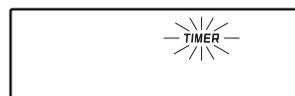
再生ソースに「CD」が設定されているときは、ディスクをセットしてください。(セットされていない場合はラジオ (FM) になります)
ラジオ (FM/AM) が設定されているときは、聴きたい放送局を選局してください。

- 9** 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をスタンバイにする。

電源がスタンバイになっていないと、タイマーは動作しません。

目覚ましタイマーの設定が終了しました。

- 停電時や電源プラグからコンセントが抜かれたときにバックアップ用電池 (11 ページ) が切れていると、タイマー設定情報は保持されません。
- 電源オンの時間になり、動作が始まると「TIMER」インジケーターが点滅します。

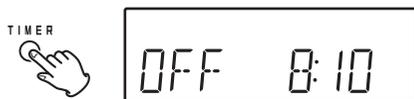


次のページに続きます ➡

目覚ましタイマー（続き）

タイマーをオフにするには

目覚ましタイマーを使いたくないときは、タイマーボタン (TIMER) を押してオフにしてください。



ディスプレイに表示されていた「TIMER」インジケーターが消えます。

- タイマーボタン (TIMER) を押して、タイマーをオフに切り換えると、ディスプレイに電源オフ (スタンバイ) の時間が数秒間表示されます。

タイマーをオンにするには

目覚ましタイマーを使うときは、タイマーボタン (TIMER) を押してください。



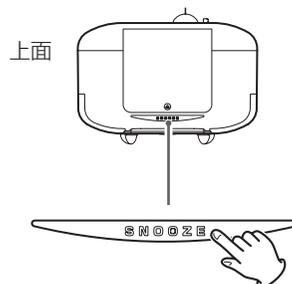
ディスプレイに「TIMER」インジケーターが表示されます。

- タイマー再生中にタイマーボタン (TIMER) を押すと、タイマーが解除されます。タイマー停止時刻になっても電源はオフ (スタンバイ) になりません。
- タイマーボタン (TIMER) を押して、タイマーをオンに切り換えると、ディスプレイに電源オンの時間が数秒間表示されます。
- 再生ソースが「BUZZER」のときにタイマーボタン (TIMER) を押すと、電源はオフ (スタンバイ) になります。

スヌーズ機能

目覚ましタイマーでオンになり、スピーカーから音が出ている状態を、このスヌーズボタン (SNOOZE) を押すことで一時的に解除することが出来ます。

1度押すと約5分間オフ (スタンバイ) 状態になったのちに再度音が出ます。この機能は繰り返し使えます。



困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

一般

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

スピーカーから音が出ない。

- ➔ ファンクション切換ボタン (FUNCTION) を押して、再生ソースを選んでください。
- ➔ 音量を調節してください。
- ➔ ヘッドホン端子からヘッドホンのプラグを抜いてください。ヘッドホンを使用しているときは、本機のスピーカーからは音が出ません。
- ➔ 「MUTING」が表示されているときは、消音ボタン (MUTING) を押してください。

雑音がする。

- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、本体の電源をオンにしてください。
- ➔ リモコンの電池が消耗している場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
- ➔ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- ➔ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

- ➔ 放送局を選局してください。
- ➔ FM 放送の受信状態が悪いときは、FM アンテナの向きを変えてみてください。
- ➔ AM アンテナは本体に内蔵されています。AM 放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。マンションなどの鉄筋建物の内部ではうまく受信できません。本機を窓辺に移動してください。

FM で、ステレオ放送なのにモノラルになる。

- ➔ FM モードボタン (FM MODE) を押して、ステレオ受信に切り換えてください。

CD プレーヤー

再生できない。

- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ➔ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
- ➔ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。

音飛びがする。

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 傷が付いたディスクは使わないでください。

次のページに続きます ➔

困ったときは (続き)

MP3/WMA ファイル

再生できない。

- ➔ ファイルの拡張子を確認してください。MP3 ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」、WMA ファイルの認識はファイル拡張子「.wma」で行います。
- ➔ MP3/WMA ファイルが破損している可能性があります。
- ➔ 本機で再生可能なファイルフォーマットなのか確認してください。(8 ページ)

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

- ➔ ファイルに ID3 タグが入っていません。パソコンなどで ID3 タグを編集した MP3/WMA ファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある。

- ➔ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイに正しく表示できません。

Bluetooth

ペアリングが出来ない

- ➔ Bluetooth 機器の取り扱い説明書を参照して下さい。
- ➔ 本機と Bluetooth 機器の電源を一度きり、再び電源を入れてペアリングを試して下さい。
- ➔ ペアリングしようとする Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器の電源を切って下さい。
- ➔ Bluetooth 機器側の「SL-D930」の登録を一度削除した後、再度ペアリングして下さい。

接続ができない

- ➔ Bluetooth 機器の電源が入っているか、Bluetooth が ON になっているか確認して下さい。
- ➔ Bluetooth 機器との距離が離れすぎていませんか。あるいは、壁などでさえぎられていませんか。
- ➔ 本機の電源を切り、再度本機の電源を ON にして下さい。
- ➔ Bluetooth 機器の「SL-D930」のペアリングを解除し 28 ページの「Bluetooth 機器をペアリングする」の操作を行って下さい。

音が途切れたり、雑音がある

- ➔ 無線 LAN や他の Bluetooth 機器、電子レンジなどが近くにありませんか。
- ➔ なるべくそれらの機器から離してご使用ください。
- ➔ Bluetooth 機器と本機の距離を近づけてご使用ください。
- ➔ また、Bluetooth 機器や本機の位置を変えてください。

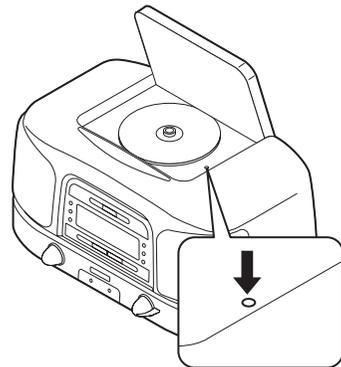
本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常に動作しなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

- このとき、バックアップ用コイン型リチウム電池を本体にセットしていない場合、時計、ラジオの放送局のプリセット、タイマーの設定情報は消去されますのでご注意ください。

以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、以下の「工場出荷状態にする方法」をお試しください。

工場出荷状態にする方法

ディスクカバーの下のリセットスイッチをボールペンの先などで、軽く押してください。工場出荷状態に戻ります。



結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ~ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕様

チューナー部

受信周波数

FM 76.0MHz ~ 90.0MHz

AM 522kHz ~ 1,629kHz

CD プレーヤー部

周波数特性 20Hz ~ 20kHz

ワウフラッター 測定限界以下

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン 3.0

プロファイル A2DP, AVRCP

コーデック SBC

コンテンツ保護 SCMS-T 対応

クラス Class2(最大到達距離約 10m)

MP3/WMA 再生フォーマット

MP3

拡張子mp3

ビットレート 16k ~ 320kbps

サンプリング周波数 16kHz、22.05kHz、24kHz、
32kHz、44.1kHz、48kHz

対応規格 MPEG-1/2/2.5 Audio Layer-3

WMA

拡張子wma

ビットレート 16k ~ 320kbps

サンプリング周波数 16kHz、22.05kHz、24kHz、
32kHz、44.1kHz、48kHz

対応規格 WMA 7.0/8.0/9.0 (DRM 非対応)

最大フォルダー数 99

最大ファイル数 999

アンプ部

定格出力

フロント 5W + 5W

サブウーハー 10W

スピーカー部

フロント

ユニット 65mm × 2

インピーダンス 4Ω

サブウーハー

ユニット 80mm × 1

インピーダンス 8Ω

一般

電源 AC 100V、50/60Hz

消費電力 20W

外形寸法 (幅、高さ、奥行) 340 x 190 x 230mm

質量 5.1kg

付属品

リモコン (RC-1311) × 1

リモコン用乾電池 (単 4) × 2

バックアップ用コイン型リチウム電池 (CR2032) × 1

ステレオミニプラグケーブル × 1

取扱説明書 (保証書つき) × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

35ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：BLUETOOTH CD RADIO SL-D930

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況（できるだけ詳しく）

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

| | | | |
|-----------------|-------------------------------|-----|---|
| 品名 および 形名 | BLUETOOTH CD RADIO SL-D930 | | |
| 機番 | | | |
| 保証期間 | 本体 | 1年 | |
| お買上げ日 | 年 | 月 | 日 |
| お客様 | お名前 | 様 | |
| | ご住所 | | |
| | 電話 | () | |

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用していただく場合がございますので、ご了承ください。

| | |
|-----|-----------|
| 販売店 | 所在地・名称(印) |
| | 電話 () |

見本

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合は、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス

- 本書の提示がない場合
- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 <http://teac.jp>

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。